

えい きょう じ ほう
永 敬 寺 報

二〇一五年六月一日

第 九 十 二 号

みやこ町勝山黒田

電話(0930) 32-241

ご 案 内

皆作並永代経法要厳修

日 時 六 月 二 十 八 日 (日)

お と き 正 午 从 ち

昼 席 一 時 〱

法 話 寶 積 寺 様

二 十 九 日 (月)

昼 席 一 時 〱

法 話 永 敬 寺 住 職

六月になり、梅雨の不順な天気が続いています。農家の皆様は田植えでお忙しいことと存じます。これから夏にかけて不順な天候が続きますので、お身体ご自愛ください。

さて、定例の皆作・永代経法要を勤めます。お繰り合わせの上、お参り下さいます様ご案内申し上げます。

毎年のことですが、皆作法要は夜席がありません。

- ① おとぎ・・・手作りの『おしろい寿司』をおいしくいただけました。
- ② 尼講・婦人会物故者追弔法要・・・追弔の表白を任職が拝読。参加者で正信偈をお勤めし、全員で焼香をしました。

③ 法話

○任職は、「真宗の仏事(葬式・法事)は聞法(もんぽう)の場です。亡き方々(かたがた)を諸仏として敬い、どんなに辛く苦しくても力強く生きてほしいという仏の願い、呼びかけを聞き、いただいでいく大事な場です。」「お経を通して仏法に出遇い、また、自分自身の仏法のいただきを伝える場です。」「今、その仏事が様変わりしているのが何を意味しているか。」「なにより話しました。」

○天翔会館部長の桑原信三さんから、最近の葬儀の現状や《終活》《終活》について話をお聞きました。残りの人生をより良く生きるための《終活》として、葬儀や墓・相続などについての考えを元気な今、まとめお話しすることの大切さを話していただきました。桑原さんはお話の中で、「これまでの自分の波乱(?)の人生も語り、森進一さんの物まねで歌を絶唱するサービスもあり、楽しく聞かせていただきました。」

④ 東北大震災被災者支援のバザー

○ 今なお、避難生活をされている被災者は二十万人以上。福島原発も大きな課題を抱えたまま、東北の苦しみや悲しみは続いています。

○『抱撲』(旧ホームレス支援機構)の理事長・奥田知志(牧師、53歳)さんは、大震災後、毎月東北(蛤浜)に行かれて復興支援をされています。NHKの『プロフェッショナル』に二度出演され、その様子が紹介されました。バザーを実施して収益金を奥田さんにお渡しし、東北支援をすることになりました。

※奥田さんは二十六年間、路上生活者の自立支援に取り組んでいます。永敬寺はこれまで二回、本堂で奥田さんのお話をお聞きました。一年前、寺で実施しましたNHK交響楽団弦楽四重奏コンサート(宮田まゆみ管)コンサートを東北支援

援コンサートの、奥田さんの活動に義援金をお渡ししました。↓↓直撃へ

○ 多くの皆さんから、たくさんのお品物（パンやインド料理店のカーシー、食品類、酒類、シューズ類、タオルや肌布団類、陶器類、日用品、バッグ、衣服類、サランラップ、ティッシュなどなど）を提供していただきました。厚くお礼申し上げます。

○ 500円や1000円、2000円で販売する品物が多いバザーでしたが、収益金として**三万二千百円**ありました。

○ 五月十八日、車二台に分乗して北九州市八幡東区の『抱樸』を、住職、坊守、白川アイ子さん、池永悦子さん、梅林フサエさん、井上則子さん、白川勇次さんの七名で訪問しました。白川会長が奥田さんに贈呈致しました。

○ その後、施設を見学し



ました。建物の説明や口頃の取り組みなどについて奥田さんからお聞きしました。

『抱樸』は総工費一億八千万円（土地代は別）かけた三階建てで、二年前に完成しました。費用は全国からの募金です。一階にはレストランがあり、入居者だけでなく地域の人も利用できます。市内の有名なホテルで調理をしていた板前さんが中心になって料理をしていますので、私たちも本当においしくいただきました。建物の中央は、三階まで吹き抜けで、各部屋が大変明るい設計になっていました。入居された方から、部屋を見せていただきましたが、安心して過ごされている様子が感じられました。

北九州市と福岡市、下関市にある施設を含めた職員は九十名（その内の七十人が正規職員）。『抱樸』は日夜、**困窮孤立者の自立支援、介護サービス、相談事業**などを行っています。

○ 道路の向かい側にある奥田さんの教会も新しくなりました。有名な一級建築士のデザインで礼拝堂は天井も高く、色々工夫がされています。教会には納骨堂や避難者を常時受け入れていく部屋も併設へいせつされています。著名人による講演会も盛んに行われています。

○ 来年五月もバザーを実施して、東北支援に頑張っておられる奥田さんにお渡ししたいと思えます。また、その時はご協力をお願いします。

右端が奥田さん



朝のお勤りごめ・五分法話

- ◎ 毎朝七時から七時二十分まで
- ◎ 親鸞聖人ご成道しよしたのち命日の二十八日は、お勤め・法話のあと朝がゆい会を毎月、行なっています。